

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-11 外国人児童生徒教育① を実施しました!

「日本語指導の基礎

～社会の状況の変化をふまえて～

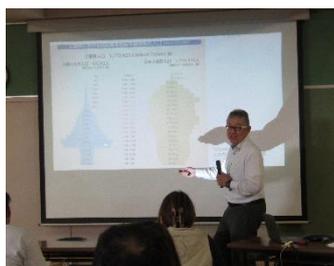
【講師】

伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーター

船見 和秀 先生

5月27日(月)、研修講座「外国人児童生徒教育①」を実施しました。講師に伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーターの船見和秀先生をお迎えし、在住外国人の動向や学校として取り組めること、やさしい日本語等についてご指導いただきました。在住外国人の動向については、国籍・地域別に見ても、年々増加傾向にあることから長期滞在を見据えた支援といつでも支援ができる体制が必要であることを感じました。

次に、「学校全体でできること」と「個人でできること」をご指導いただきました。「学校全体でできること」としては、教職員全員があらゆる機会を捉えて、意図的に日本語をインプット・アウトプットすることが大切であることを学びました。また、「個人でできること」としては、やさしい日本語(はっきり、さいごまで、みじかく)を意識して話すこと、生活言語や学習言語を指導するだけでなく、日本の文化、習慣に関わる言葉や文脈についても丁寧に指導することが大切であることを学びました。



講義の最後には、船見先生より ICT 教材 eboard を紹介いただきました。eboard は、ネット環境があればどの端末からでも無料で使うことができ、小学1年生から中学3年生までの各教科すべての単元を学習することができる ICT 教材です。学校だけでなく家庭学習などさまざまな場面で活用できると思いました。本講座で学んだことを各校で還流いただきますようよろしくお願いいたします。

アンケートより【一部抜粋】

- ・やさしい日本語を意識することは国籍関係なく、子どもや大人どの人にも通じるものなので、とても有効なものだと思います。日本で暮らす外国人がさらに増えてきているので、これからもやさしい日本語を意識し続けたいです。また、子どもの学習言語を「意図的に増やす」ことが特に印象に残りました。どのような言葉で何を使って教えるかをよく吟味して授業を行いたいと思いました。(小)
- ・とても分かりやすい日本語の表現を学ぶことができました。授業に限らず常日頃から日本文化に触れさせ、楽しい日本語を伝えていけたらと思います。外国籍の子どもたちが孤独にならないように誰もが共に生活していけるよう工夫し、コミュニケーションを円滑にしていけたらなと思います。(中)